

## 京都市「糖尿病・循環器病」に関する取組について

## 1 地域における健康づくり事業

各区役所・支所において、区民の健康に関するデータを分析し、地域の健康課題を把握のうえ、地域ニーズに応じた地域密着型の健康づくり事業を実施。

また、糖尿病及び高血圧等の循環器病発症予防の取組として、各区役所・支所において特定健診データから糖尿病予備群（HbA1c 6.0～6.4%）や血圧が高めの方（収縮期血圧130mmHg以上、140mmHg未満、又は拡張期血圧85mmHg以上、90mmHg未満）へ個別案内を行い、食生活や運動等の生活習慣の改善に係る健康教育や保健指導等の取組を実施。

## ○ 糖尿病発症予防プログラム（令和4年度～）

**令和4年度** 中京区、伏見区、醍醐支所（参加者計：48名）

**令和5年度** 下京区、伏見区、深草支所、醍醐支所（参加者計：89名）

**令和6年度** 上京区、中京区、東山区、右京区、西京区、深草支所

## ○ 循環器病発症予防プログラム（令和6年度～）

**令和6年度** 下京区、南区、伏見区、醍醐支所

## 2 栄養・食生活

## (1) そうだ、野菜とろう！キャンペーン

生活習慣病予防を目的に、毎年6月の食育月間に合わせて、市民の野菜摂取量と健康への意識を高める取組や食環境整備を、関係機関と連携し実施。

## (2) 京都おいしい減塩プロジェクト

循環器疾患や糖尿病合併症の危険因子である高血圧の予防・改善のポピュレーションアプローチとして、減塩の取組の必要性和その実践について市民に普及啓発等を実施。

## 3 歯と口の健康（歯周病予防、口腔健康管理の推進）

## (1) 歯科相談や健康教室等で普及啓発

歯周病予防啓発手帳「歯ッピーNote」や「歯周病セルフチェックシート」の配布、歯科相談、お口からはじめる生活習慣予防教室等を通じ、歯周病と生活習慣病の関係を含めた普及啓発等を実施。

## (2) 歯周疾患予防健診

- ・ 節目年齢に対する歯周病検診として、医療機関での歯科健診の機会を提供。これまで40歳～70歳までの5歳刻みを対象としてきたが、本年6月から20歳・30歳にも拡充。
- ・ 京都市国保特定健診の受診者のうち、糖尿病又は糖尿病が疑われる方から対象を抽出し、歯周疾患予防健診の自己負担金500円の無料クーポン券を送付し、歯科受診の促進を図る取組を実施。

## 4 身体活動・運動（資料5参照）

## 5 たばこ・飲酒（資料6・資料7参照）

## 6 普及啓発

### (1) 「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」におけるライトアップ

11月14日の「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」に合わせて、京都府医師会をはじめとする関係機関と連携し、シンボルカラーであるブルーにライトアップを実施。

**令和6年度** 府下13箇所（京都市役所本庁舎、京都市京セラ美術館、伏見桃山城等）

## 7 生活習慣病重症化予防

### (1) 糖尿病重症化予防戦略会議

医師会をはじめとする保健医療団体と医療保険者が一体となり、連携して糖尿病重症化予防対策の事業実施基盤の整備を促進し、地域の実情に応じた保健指導体制を構築することを目的として年1回実施。

**令和6年度** 令和7年1月実施予定

### (2) 特定健診受診者に対する生活習慣病重症化予防対策（保険年金課）

特定健診の結果から、糖尿病・慢性腎臓病の重症化リスクの高い者等へ保健指導を実施するとともに、糖尿病の治療を中断している者や、糖尿病により医療機関受診中の方のうち、糖尿病の重症化リスクが高い方への保健指導を実施。